

左内側型変形性膝関節症

スーパーポア KB-3 (10×30×20 mm) 1個

KG-5 (4.0mm-6.0mm) 5g

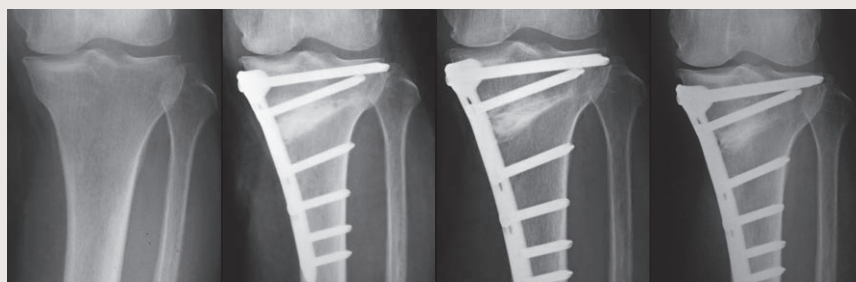
変形性膝関節症 (K-L分類grade 3) 立位FTA 183° ブロックをダイヤモンドディスクでクサビ状に加工し、骨切部に挿入後、周囲に顆粒を充填した。術後2週間の免荷、3週間で全荷重を許可した。



KB-3
10×30×20mm



KG-5
4.0mm-6.0mm



術 前

術後2ヶ月

術後5.5ヶ月

術後14ヶ月

補填したブロックの破損や脱転はなく、術前立位FTA183°は170°に矯正された。術後2ヶ月では骨との境界が不明瞭になり、人工骨周囲の吸収骨置換を認める。術後5.5ヶ月ではさらに骨との境界が不明瞭となり、吸収骨置換の進行が確認できる。術後14ヶ月では外側ヒンジ側の人工骨はほぼ完全に吸収骨置換している。疼痛は改善され、経過良好である。